

令和5年度第4回守谷市保健福祉審議会
書面開催結果説明書【社会福祉課】

◎報告事項Ⅰ

令和5年度第5回地域自立支援協議会開催報告について

1. 小田委員

【意見】

- ① 障がい者週間のアンケートについて、回答は1件だったが、障サ連が協力させていただいた定期巡回や当事者間の話では、そこそこ反響がありました。偏りはあったが、各事業所のパンフ等はすぐになりました。当初「費用対効果」を測るためのアンケートと聞きましたが、スタッフを常設しないと難しいと思います。パンフレットの減りで、おおよその数を把握することはできるかもしれません。
- ② 医療的ケア児等コーディネーターの配置について、当事者（ご家族）の要望、ニーズを詳しく調査された方が良いと思います。
- ③ 移動支援事業については、なにとぞ前向きなご検討をお願いいたします。

【回答】

- ① ご意見ありがとうございます。アンケートにつきましては、障がいの多様性を踏まえた様々な方法を検討します。
- ② 現在医療的ケア児等コーディネーターは、医療的ケア児の支援に関わる3課（健幸長寿課、おやこ保健課、のびのび子育て課）に配置しています。今後医療的ケア児の支援につきましては、基幹相談支援センターが中心に行ってまいります。その活動の中で、当事者（ご家族）の要望及びニーズを伺いながら、医療的ケア児等コーディネーターの適切な配置に努めてまいります。
- ③ 市としてどのように支援をしていくか、地域自立支援協議会で協議しながら、対応策について具体的に検討してまいります。

2. 田上委員

【意見】

- ① スマホの普及率と使いこなせるかは別問題です。事務局のお答えのとおり、紙ベースのアンケートも必要と思います。
- ② その他にある移動支援事業ですが、記載されているとおり、検討・協議していただけること及び良い結果が出ることを期待します。

【回答】

ご意見ありがとうございます。アンケートにつきましては、各委員の皆様からのご意見を踏まえ、障がいの多様性を踏まえ、様々な方法により行ってまいります。

3. 田中委員

【意見】

当施設にも医療的ケア児をかかえている方が働いています。施設として協力できることは行っていますが限度はあります。少しでも親が安心して仕事ができるよう受け入れ施設の充実化が必要と感じています。

【回答】

ご意見ありがとうございます。市としてどういった支援ができるか地域自立支援協議会等にて協議するとともに、医療的ケア児の親御さんが安心して生活できる環境づくりに努めていきたいと思えます。

4. 新田委員

【意見】

相談分科会から提案のあった通学・通所支援については、小さなことかもしれませんが、これがあることでお子さんや障がいを持つ方が通うチャンスが増えると思います。サービスを体験する時に送迎がないこともあり、せっかく利用に前向きになった方があきらめなくてはならないのは残念です。(相談員がボランティアで送迎するケースとても多いです。)ぜひご協議ください。

【回答】

ご意見ありがとうございます。市としてどのように支援をしていくか、地域自立支援協議会で協議しながら、対応策について具体的に検討してまいります。

5. 竹内委員

【意見】

- ① 障害者週間のアンケートは、障害が多様であることに配慮し、様々な方法を設けるのが望ましいのではないのでしょうか。
- ② 医療的ケア児の窓口の集約は、関連部署でも対応できるように調整することが望ましいのではないのでしょうか。
- ③ 移動手段と保護者送迎の問題は、対応策を具体的に検討し、モデルとして進めてほしいです。

【回答】

- ① ご意見ありがとうございます。アンケートにつきましては、各委員の皆様からのご意見のとおり、障がいの多様性を踏まえ、様々な方法により行ってまいります。
- ② 現在医療的ケア児等コーディネーターは、医療的ケア児の把握に漏れがないように、医療的ケア児の支援に関わる課(健幸長寿課、おやこ保健課、のびのび子育て課、社会福祉課)に配置しています。今後医療的ケア児の支援につきましては、基幹相談支援センターが中心に行ってまいります。これまでの担当課においても引き続き対応できるように調整してまいります。
- ③ 市としてどのように支援していくか、地域自立支援協議会で協議しながら、対応策について具体的に検討してまいります。

6. 清水委員

【意見】

- ① アンケート(1件)の内容(概略)をできれば教えてください。
- ② 医療的ケア児等コーディネーター配置の予定はいつ頃を考えていますか。

【回答】

- ① ご意見ありがとうございます。アンケートでは、「展示についての満足度」「見学しやすい場所」を選択式で質問しております。満足度は「満足している」、場所については、イオンタウン守谷、市役所及び中央図書館が選択されていました。
- ② 医療的ケア児等コーディネーターは、現在医療的ケア児の支援に関わる3課(健幸長寿課、おやこ保健課、のびのび子育て課、社会福祉課)に配置しています。今後はさらに人数を増やしていく予定です。

令和5年度第4回守谷市保健福祉審議会
書面開催結果説明書【社会福祉課】

◎報告事項2

令和5年度第2回地域福祉推進委員会開催報告について(社福)

1. 小田委員

【意見】

- ① ボランティアの確保等について、ボランティアポイント制度の障がい児・者サービスへの適用は受け入れる施設にとっても有意義なものです。浸透するまで時間がかかると思うが、諦めずに継続してほしいです。
- ② 福祉的な人材確保については、本当に厳しい状況。保育人材の確保のように機会やお金をかけてほしいです。

【回答】

- ① ご意見ありがとうございます。ボランティア活動を行う人、受け入れる施設のそれぞれが制度を理解して、ボランティアポイント制度が幅広く周知され活発な活動になるよう、引き続き啓発活動を行ってまいります。
- ② 福祉分野の人材確保についてもボランティアポイント制度をはじめ、今後検討してまいりたいと思います。

2. 吉田委員

【意見】

知人に、退職したら何か地域のために活動したいと思っていて、今退職し活動している人がいます。仕事を退職した世代に対して働きかけることは良いことだと思います。

【回答】

ご意見ありがとうございます。退職された世代への啓発活動についても今後検討してまいりたいと思います。

3. 田上委員

【意見】

各地区のまちづくり協議会や、シルバークラブ等と連携してはどうでしょうか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。退職された世代への啓発活動について、まちづくり協議会等の様々な組織とも連携し、効果的な施策を今後検討してまいりたいと思います。

4. 新田委員

【意見】

ボランティアポイント制度が広まっていけると良いと思います。

【回答】

ご意見ありがとうございます。ホームページ等を通して啓発活動を継続してまいります。

5. 清水委員

【意見】

- ① 市民大学受講生の地域活動への参加について
→受講終了後、ボランティア活動等のアンケートを実施してはどうでしょうか。
- ② 各計画策定時には、できる限り客観的数値目標を立てるべきという意見に賛同できます。
- ③ 有償ボランティア制度の導入ではなく、現行のボランティアポイント制度を継続することで良いと思います。

【回答】

ご意見ありがとうございます。

市民大学については、受講がどの程度、地域活動に繋がっているかを把握するためアンケート等の実施の必要性を担当部署も認識していますので、今後実施を検討してまいります。

第3期守谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画について、今後は年度ごとに可能な限り客観的数値目標等を立て、それに対する評価を実施していけるようにしていきたいと考えます。

ボランティアについては、その活動内容等に応じた適切な制度を検討してまいります。

令和5年度第4回守谷市保健福祉審議会
書面開催結果説明書【介護福祉課】

◎報告事項3

看護小規模多機能型居宅介護事業所の開業遅延について

1. 田中委員

【意見】

無事に開所できて何よりです。守谷市に新しいサービス形態が増え、高齢者福祉がますます充実することを期待します。

【回答】

ご意見ありがとうございます。今後さらなる地域包括ケアシステムの深化につながるものと、市としても期待しています。

2. 竹内委員

【意見】

開業遅延の理由は、建設作業の遅れによるということであるが、人員の確保などの体制構築に問題がないことを確認していただきたい。

【回答】

ご意見ありがとうございます。開業遅延につきましては、資材搬入の遅れによるものです。また、人員体制については、指定申請書において基準を満たしております。

3. 清水委員

【意見】

- ① 施設の開業遅延はやむを得ないと思います。なお、施設は平屋建てでぬくもりがあるので、利用者はやすらぎを持って利用できそうです。
- ② 昨日（3月中旬）現地を見たところ、まだ内装等作業を進めており、今年4月からの事業開始がでけるのか危ぶまれます。また、施設ができたとしても開業前に事前にスタッフの研修等が必要と思われる。
- ③ スタッフ11名の職種はどのようでしょうか。
- ④ 市の広報等への掲載など、利用者の募集はどのようになっているのですか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。スタッフの研修については、国が指定する研修等を受けた職員が配置されていますが、事故等が発生しないよう自己研鑽に努めるよう依頼しております。

スタッフの職種については、管理者1人、ケアマネジャー1人、看護師4人（管理者1人含む）、介護職員7人（ケアマネジャー1名含む）となっております。

利用者の募集については、民間事業所であるため市の広報等への掲載は行いませんが、他の介護事業所と同じように、市内居宅介護支援事業のケアマネジャー等を通じて行われるものと思われます。すでにサービス利用のお問い合わせが7件寄せられていると報告を受けました。

令和5年度第4回守谷市保健福祉審議会
書面開催結果説明書【すくすく保育課】

◎報告事項4

第3期子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について

1. 埜本委員

【意見】

WEBアンケートという新しい形式に設問、設問の量など難しいことが多々あることは想像できます。WEB回答は空き時間に回答でき、途中で中断しても続きは後でできるし、用紙を広げる場所はいらない。使い慣れたスマホなどで回答できるなどの利便性を理解してもらうことも大事なかなと思います。WEB上でできる「おまけ」、例えば保健センターのあそびの森のポイントチケットなどはいかがでしょう。まずはアンケートに多くの親御さんが答えていただくこと。それは幸せな子育てにつながるのだと思います。

アンケート作成については、専門家を交えて、質問の量、簡素化、ことばの使い方など、まずは重要課題からで、その回答から方向が見えてくるのではないのでしょうか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。結果としては、WEBアンケートの回答率は前回は下回るものとなりましたが、依頼数を増やしたことで、いずれの調査も前回調査を上回る回答数を得られております。次回に向けて時期や内容、インセンティブ等を検討するよう、記録を申し送ります。

2. 小田委員

【意見】

パブリックコメントについて、他の案件において反響が少ない事例もあります。興味・関心がないのか、異議等の意見がないのか、真意はわからないが、コメントの数については特に注視することはないのですか。もし、多くのコメントを求めたいとするならば、これまでとは異なる手段や対策を立てられますか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。パブリックコメントにつきましては、計画策定上で重要なご意見となりますので、コメントしやすい手段や対策等を検討してまいります。

3. 清水委員

【意見】

- ① ニーズ調査の設問項目の縮小は、回答者の負担を軽くすること、回収率が上がると思われるので良いと思います。
- ② 就学前と就学児童調査の対象人数が切りの良い数ではなく端数としたのはなぜですか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。就学前と就学児の両調査の合計を25%増の2,500件とし按分したことによるものです。次回は主な計画事業の対象である就学前児を増やし、就学児を減らしても良いかとの考えに至りました。

令和5年度第4回守谷市保健福祉審議会
書面開催結果説明書【すくすく保育課】

◎報告事項5

令和6年度保育所等利用調整結果について

1. 小田委員

【意見】

就学前児童人口の減少に対して、事業者側からの意見や要望等はあるのですか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。一部の事業者から経営継続のため、利用定員減少等、今後の運営への相談がある状況です。

2. 田上委員

【意見】

利用者、保育士、施設のバランスをとることは大変ですが、よろしく願います。

【回答】

ご意見ありがとうございます。今後の社会情勢や国・県の動向に注視しながら対応していきたいと思えます。

3. 田中委員

【意見】

2の利用定員が、R6年度は減るのですか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。令和5年度から18人減の利用定員となります。理由としては、一部の施設での利用児童の恒常的減少に伴い実情に合わせて減員するものです。

4. 竹内委員

【意見】

需給のバランスの問題から、マッチング等の中身の問題へと課題が変化していることを踏まえて今後は報告していただきたい。

【回答】

ご意見ありがとうございます。次回の報告から各園の空き状況等、ミスマッチの状況についてもご報告します。

5. 清水委員

【意見】

- ① 資料にあるとおり、「新規入所申込者数」の減少が続いていますが、待機児童数も減っていると思われれます。
- ② 少子化が今後も続くと思われ、定員制の保育園が増える可能性があります対策があれば教えてください。

【回答】

ご意見ありがとうございます。施設が撤退してしまうと必要な受け皿の確保が難しくなるため、利用定員を下げる、一時保育や子育て支援事業への参画などの対策が考えられます。

令和5年度第4回守谷市保健福祉審議会
書面開催結果説明書【のびのび子育て課】

◎報告事項6

こども家庭センター開設について

1. 小田委員

【意見】

病児・障がい児への対応は別ですか。含まれる場合、医療機関や福祉サービス事業所等との連携・支援のイメージはどのような感じてでしょうか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。病児・障がい児の相談につきましては、健幸長寿課の地域共生グループが窓口となりますが、その中で、こども家庭センターは子育て家庭で生じている困難さを支援していくということが大きな役割となっております。関係機関としては、児童発達支援事業所、放課後デイサービス、発達障害者支援センター等、児童に関わる分野での連携は不可欠と考えております。また、ヤングケアラーに対する支援も行うことから、介護保険サービスや障がい福祉サービス等との支援内容の調整も必要になると考えております。

2. 田上委員

【意見】

これからに期待します。

【回答】

ご意見ありがとうございます。守谷市は核家族が多いため、妊娠中から、子育て支援施設や相談機関を案内し、一人で悩むことがないよう、職員や関係機関が寄り添っていきたいと思います。また、各関係機関の役割の一つとして、虐待の予防に努めていただいております。自ら相談できない方もいらっしゃると思いますので、まずは子育て支援関係の担当者が不安を抱える保護者につながっていただき、その後、こども家庭センターの職員につなぐという「つながる・つなぐ」を合言葉にみんなで守谷市の子育て家庭の応援をしていきたいと思っております。

3. 新田委員

【意見】

市民の方が相談しやすいように、たらいまわしにならないように、寄り添っていける相談体制が求められると思います。「このケースはうちの管轄ではない」というようにならないでほしいと思います。

【回答】

ご意見ありがとうございます。子ども家庭センターが目指すところは、「ここにすれば、一緒に考えてくれる。安心できる。」と提供いただけるようなセンターです。まずは、どんな相談でも市民に寄り添い、お話をお聞きした上で、必要であれば専門機関におつなぎする等、最後まで責任をもって対応をしていきます。

4. 竹内委員

【意見】

国の整備の体制もふまえて、どのような整備がすすめられているかを説明した資料にするのが望ましいのではないのでしょうか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。国のガイドライン(案)が届いたところで、守谷市に必要な事業は何か、どんな体制が望ましいかの検討を続け現在に至っております。詳細の資料をお示しせず申し訳ございませんでした。開設後にセンターの事業や状況も含めまして、またご説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

5. 清水委員

【意見】

守谷市は、子育て支援に様々な施設を設置したり、各種の施策を進めていることに大変評価をいたしますが、「こども家庭センター」の開設の機会に子育てに関する施設や施策を市の広報に特集として掲載してはいかがでしょうか。

【回答】

ご意見ありがとうございます。子ども家庭センターを含め、子育てに関する特集として掲載していけるよう、秘書課に相談していきたいと思っております。